

整理や収納を見直したり、システムをカイゼンしたことで生まれ変わった医院の知恵をご紹介します。



小原啓子
（株）デンタルタイアップ
代表取締役

藤田昭子
（株）デンタルタイアップ
歯科衛生士

快適な医院づくりは 移転前の計画が肝心！



**患者さんを不安にさせない
待合室づくり**
移転の時、重視した一つが待合室。幅広い年齢の患者さんが安心して過ごせる空間にするため、照明や家具にもこだわった。

今回の カイゼン医院

カイゼン歴3年目

医療法人メディエフ 寺嶋歯科医院

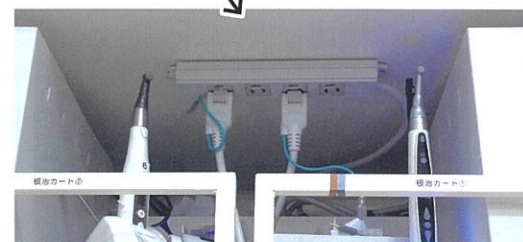
大阪府

- 院長 寺嶋宏暉
- 歯科医師 15人（うち非常勤8人）
- 歯科衛生士 20人
- 歯科技工士 1人（歯科衛生士資格保有）
- 管理栄養士 1人（保育士資格保有）
- 保育士 5人
- 受付・事務 6人
- クレンリネス 6人

ユニット：13台



（コード管理の工夫）



コードは見えない位置に！
医療器機だけでなく、最近は液晶タブレットなどのガジェットも増えているため、どうしてもコード類が散乱しがち。移転の際は最初から配線の位置を決めておくと、よりきれいに見える。

モニターの後ろに！
モニターの後ろにコード類を隠すコーナーを設置。モニターを動かしても白い板があるため、コードが見えないようになっている。



移転前に計画しておきたいこと！

どんなにカイゼンを工夫しても、患者さんやスタッフが増えてくれば医院そのものが限界を迎えることもあります。

寺嶋歯科医院は、一般診療から訪問診療まで幅広く地域に貢献してきましたが、気付けば予約が溢れ、診療室は人とすれ違うのも精一杯の状態に。そこで今年、思い切って移転を実施。ユニットも

増設しました。

安心・安全な歯科医院のために、旧医院でカイゼンしたかったことをまとめ、移転前から計画しました。

スタッフが気持ち良く働ける医院を全員でつくり、今日も笑顔で患者さんを迎えています。